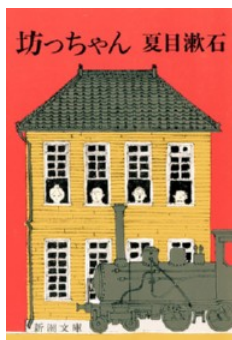




えがわたつや 江川達也(漫画家)

- 名古屋市出身 愛知教育大学卒
- ★ 一九八四年、「BE FREE」でデビュー。
- ★ 代表作の「まじかる☆タルるートくん」「東京大学物語」は、作品がアニメ化、ドラマ化されるなど人気作家として活躍。漫画以外にもテレビ出演多数。

わたしの一冊



- ▼ 書名 坊っちゃん
- ▼ 著者 夏目漱石
- ▼ 出版社 新潮社

本の紹介

※この文章はインタビューをもとにまとめたものです。

● 小中学生におすすめの一冊は何でしょうか。

いろいろありますが、自分が漫画にもした「坊っちゃん」がいいかなと思います。主人公の「坊っちゃん」というのは、実は無茶苦茶な人なのです。友達にばかにされたので、二階から飛び降りたりしているわけです。ばかにされて、ナイフで自分の親指を骨まで切り込む男なのです。「坊っちゃん」というタイトルは、まさに皮肉なのです。要するにまつすぐな人間とか「純粋な人間を「坊っちゃん」と言ってる、みんなバカにするけど、そんなことないのだというようなことが書いてあるのです。ギャグ満載なのだけど、「坊っちゃん」笑えるよねっていう人少ないですよ。

小中学生のみなさんへ

● 小中学生にメッセージをお願いします。

僕は先生や親に反抗したことはありません。反抗というのは甘えだと思うのです。やっぱり先生が違くなって思ったら超えてやろうと思わなくちゃ。親が違くなって思ったら超えて、違っただぞっていうことをあえて見せてほしいと思います。これやってくれなかった、あれやってくれなかったじゃなくて、自分が、もしも学校が違くなって思ったら、自分が先生になって学校を変えようとか、そうすべきだよ。社会も楽しくはないけど、楽しくないと思ったらそれをうらむのではなくて、自分が自分の範囲内でもいいから、それを超えてやるっていうエネルギーにするのが、若さだと思えます。僕はそうやってきました。学校の先生はすぐにやめてしまいましたけどね。



おざわかずひろ

小沢一敬(漫才師・スピードワゴン)

- 知多市出身
- ★ 「スピードワゴン」のボケ役、ネタ作り担当。
- ★ 平成十年コンビ結成。「M-1グランプリ」決勝進出(H14、15)。爆笑オンエアバトルチャンピオン大会ファイナル2位など、実力派漫才師として活躍。
- ★ 「熱血！平成教育学院」「にっぽん熱中クラブ」などのレギュラー番組のほか、コンビ、単独での出演多数。

わたしの一冊



- ▼ 題名 ポケットに名言を
- ▼ 著者 寺山修司
- ▼ 出版社 角川書店

本を紹介

※この文章はインタビューをもとにまとめたものです。

● これまでの読書経験の中で小中学生にすすめたい本は何ですか。

僕は、子どもころから本ばかり読んでいました。何かを買ってもらおうといえ、本を買ってもらいました。その中で、読みやすいということから、寺山修司の「ポケットに名言を」をすすめたいと思います。

● 特にどういったところがおすすめですか。

寺山修司は名言集をいっぱい出しています。例えば、「両手いっぱい言葉」。これは寺山修司の言葉なんですけど、「ポケットに名言を」は世界中の映画や舞台、ことわざ、歌などのいい言葉を集められているのです。いろいろな項目に別れていて、例えば「朝」とか「恋」といったように、それにま

つわる名言を集めているので、どこからでも読めるところです。

● その本の中で心に残っている言葉はありますか。

この本は「言葉を友人に持ちたいと思うことがある。」というような言葉がはじめの方にあり、好きな言葉です。あとは、「名言」が終わった後に寺山修司が書いた詩や小説に出てくる言葉について書かれているところがあって、その中に「空を飛びたいと思うか？」といったような会話があります。でも、それは鳥になって空を飛びたいのではなくて、「背広を着たま飛びたい」という内容で、その言葉が心に残っています。

小中学生のみなさんへ

● 小中学生の子たちにメッセージをお願いします。

僕は三十五歳になって、中学校を卒業してから二十年経つのですが、最近思うことは、中学のときあれをやっておけばよかったとか、若いときにあれをやっておけばよかった、例えば、ボクシングやっておけばよかったとか、年をとって言う人がいるじゃないですか。若返ったらやるのとか若かったらやるのと言っている人は、若返ってもやらないうえです。逆に大人になったらあれをやらうと言っている子は、大人になってもそれをしないから、「やりたいことはすぐにやりなさい」ということです。



かとう あきよ
加藤昭代(大正琴 琴生流菊八重会家元)

- 名古屋出身 丹羽郡大口町在住
- ★ 大正琴・琴生流菊八重会を創始、家元となる。(S57)
- ★ 愛知県芸術文化選奨文化賞受賞 (H8)
- ★ 紺綬褒章受章 (H15)。
- ★ 東京国立劇場で大正琴としては初の単独公演開催。

わたしの一冊



- ▼書名 ああ無情
- ▼著者 ビクトル・ユーゴー/作
- ▼訳者 塚原亮一
- ▼出版社 講談社

本の紹介

私は五歳、十九歳と二度の大腸カタルという病気で死線をさまよい、もともと体が丈夫な方ではなく、長い間、闘病生活ばかりで、多感な時代の大事な記憶がスッポリ抜け落ちてしまっています。私は推薦できる本など、口はばつたい思いますが、「ああ無情」だけが鮮明です。

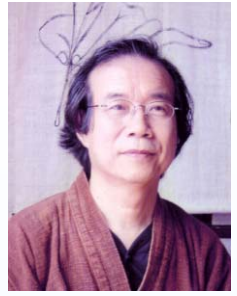
和箏の稽古に通っていると、お師匠さんのお家には子供向けの少女小説の類がいっぱいありました。登場人物は決まって、貧しいがかわいらしい頭のいい子と意地悪なお金持ちの子で、最後は貧しい子に幸福が訪れてめでたしめでたしになるパターン。毎度、マンネリの内容に嫌気が差し、ほとんど題名も著者名も覚えていませんが、この本だけは覚えていま

す。
 百五十年も前にフランスで、十六年かけて書きつづられた「ああ無情」は、「読んだ方がいい古典」というよりは、「読んでおかなければいけない古典」です。

小中学生のみなさんへ

先に紹介した「ああ無情」は、私の生き方にも大きな影響を与えています。常に温かい目で、ことに幼い子たちにも誠心誠意で接することなど、ジャンの生き方は、小説が私に与えてくれた指針となっています。この様な古典はこれからの人生において役に立つでしょう。
 もう一つ、音楽の世界に生きる私にとっては、「さくらさくら」や「荒城の月」のような音楽を知っていただき、音楽の楽しさも、今の子供たちに知ってもらいたいところです。





加藤恵一（耳かき職人）

かとうけいいち

- 碧南市出身・在住
- ★ 碧南市役所に就職（S44）。五十歳で耳かき職人になる。
- ★ ハンズ大賞ハンズマインド賞受賞（H13）。ホビー大賞奨励賞受賞（H14）。日本クラフト展入選（H15）。

わたしの一冊



▼書名 杉原千畝物語

—命のビザをありがとう—

▼著者 杉原幸子、杉原弘樹

▼出版社 金の星社

本の紹介

人間の命は平等に尊いもの

第二次世界大戦が始まるとき、リトアニアという国の日本領事館の杉浦千畝さんが、ドイツ軍の迫害を受けることを恐れポーランドから逃げてきたユダヤ人を、日本を通過して外国に行かせるため、日本政府の命令にそむいてビザを発行し、六千人以上の命を救ったという話です。

命令違反で罰をうけることも恐れず、手書きで一日三百枚、一か月近く眠る時間も惜しんでビザを書き続け、最後、命令を受けて駅に行き汽車に乗っても、出発するぎりぎりまで懸命にビザを書き続け、一人でも多くのユダヤ人（人間の命）を助けようとしたところに、心を打たれました。

いまも戦争・宗教・差別・いじめなどにより、人間の命が奪われていま

す。人間の命の尊さを教えてくれる本です。

小中学生のみなさんへ

人生は一度だけ

私は、小さい頃から、家にある木の切れ端、のこぎり、かなづち、くぎなどを使って、自分で工夫して「世界で一つのもの」を作るのが好きでした。でも最初に選んだ仕事は公務員でした。

三十歳くらいから趣味で耳かきを作っていました。四十九歳のとき、ある作品コンクールと出会い、出品する耳かきを夢中で作っているうちに、自分が本当にしたいことは「これだった」と自分を再発見し、五十歳で「耳かき職人」の人生を歩み始めました。

あなたたちは、これからの長い人生が待っています。自分がしたいことを見つける「そのとき」に出会うことがあると思います。そのとき再チャレンジする勇気が必要となるでしょう。人生は一度しかありません。

その他の紹介図書

- ◆ 「平和を築く 平和賞」（ネイサン・アーセリング／作 牧野賢治／訳） 大日本図書



かねまつ けん 兼松 顯 (大学教授・薬学博士)

- 扶桑町出身。名古屋大学、名城大学勤務。
- ★ 岐阜薬科大学、京都大学大学院卒。薬学博士。
- ★ 九州大学教授 (S52)、名城大学総合研究所所長 (H11)、名城大学学長 (H15)。
- ★ 日本薬学会学術賞受賞 (H4)、紫綬褒章受章 (H11)、瑞宝重光章受賞 (H19)

わたしの一冊



- ▼ 書名 フェアブル昆虫記
- ▼ 著者 ジャン・アンリ・フェアブル／著
- ▼ 古川晴男／訳
- ▼ 出版社 偕成社

本の紹介

わが道を選ばせた一冊の本

山野をかけめぐり、自然の中で手を触れ、観察し、確かめる。そして、不思議な謎を解く喜びを味わう。わくわくする幼いころの喜びである。こんな経験が科学の道を進ませた研究者は多い。わたくしも、そんな環境の中で、科学の道の道を選んだ記憶があり、その影響を受けた一冊の本が、フェアブルの「昆虫記」である。この本は、古くから翻訳され、これまでに青少年に与えた影響は計り知れないほど大きい。ノーベル賞受賞者の福井謙一先生もその一人である(福井謙一著「学問の創造」(偕成出版社) 59〜67ページ参照)。さまざまな昆虫の習性の面白さ、本能の不思議さ、昆虫親子の豊かな愛情を学び、さらに、著者の人生における社会に対する考え方などを

小中学生のみなさんへ

学ぶことのできる不滅の名著である。なお、名著ゆえに多くの出版社より、さまざまな編集が試みられている。具体的にはインターネットを通じて、検索されるとよいが、そのうちお薦めできる一冊の本を掲げた。

サイエンスに学ぶ「ころ」と「ころごと」

二十世紀はサイエンスの世紀といわれ、目覚ましい科学の進歩が遂げられた。従って、今世紀は、前世紀の科学と技術を受け継ぎ、人類のためにサイエンスを更に大きく発展させなければならない。その流れをくんで、情報技術や生命科学の進歩が期待される。しかしながら、今日の日本の若い層には理科離れが起きている。是非、二十一世紀を背負い、主役を演じる小中学生の皆さんには、サイエンスに興味を見出し、広く学んでいただきたい。

その他の紹介図書

- ◆ 「世界偉人全集 48 アインシュタイン」(菅井準一／偕成社)
- ◆ 「世界偉人全集 2 キュリー夫人」(清閑寺健／偕成社)



かわかみえつこ 川上越子(絵本作家)

- 長久手町在住
- ★ 代表作に、「こころのばんば」「どろあそび」(福音館書店)、「そらまめとわらとすみ」「わらしべちようじゃ」(鈴木出版)、「野菜畑で」(架空社)、「しずかな森のものがたり」(文化出版局)等多数。

わたしの一冊



- ▼ 書名 トム・ソーヤーの冒険
- ▼ 著者 マーク・トウェイン/作
- ▼ 大塚勇三/訳 八島太郎/画
- ▼ 出版社 福音館書店

本の紹介

トム・ソーヤーは、十歳の勉強嫌いで腕白な少年。仲間たちと海賊ごっこ、戦争ごっこ、けんかや家出など、毎日が楽しくてたまりません。ポリーおばさんの苦勞も絶えません。規則に縛られた学校や教会では校長先生にいつも大目玉。トムは大自然の中で思いきり遊ぶ冒険が得意です。クラスのベッキーとの幼い恋。うんざりするペンキ塗りの仕事をまんまと乗せられ順番待ちする仲間を、木陰でリンゴを食べながら眺めるトム。ある夜、親友のハックと墓地で殺人事件を目撃したため、思いがけない展開と……。

この物語は、一八七六年、アメリカの作家マーク・トウェインが少年時代の自分や周囲の友だちの体験したことを書いた子どものための本です。

小中学生のみなさんへ

「トム・ソーヤーの冒険」を読んで

オバマ大統領の就任演説で、彼は自分のことを「六十年前には(人種差別で)レストランに入れてもらえなかった父の息子」と言いました。六十年前とは私が十歳の頃で、家にはテレビはなく、ラジオを一家で一揃に聴いていました。天気の良い日には子ども達も外で暗くなるまで遊ぶのでした。そのまだ六、七十年前、十歳のトムは、もっと大自然の中で思いっきり遊んでいました。この小説は長編だから読破が大変。でも、多くの人が憧れた冒険がいっぱいあり、怖い場面もありますが、終わりまでワクワクし続けます。それは百年を超えても消えない名作だからだと思います。再話されているアニメでは、本物のトムに出会えないから挑戦してみてください。

その他の紹介図書

- ◆ 「ねずみ女房」(R・ゴッテン/作 石井桃子/訳) 福音館書店
- ◆ 「百まいのドレス」(エレナー・エステイス/作 石井桃子/訳) 岩波書店

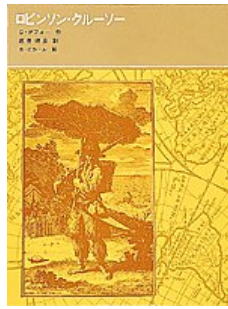


かわくちふみお

川口文夫(中部電力(株)代表取締役会長)

- 幸田町出身、在住
- ★ 中部電力(株)代表取締役会長
- ★ 中部経済連合会会長

わたしの一冊



▼書名 ロビンソン・クルーソー

▼著者 ダニエル・デフォー／作 坂井

▼著者 晴彦／訳 B・ビカール／画

▼出版社 福音館書店

本の紹介

私が若い頃読んだ本で、今読み返しても興味深い本を一冊ご紹介いたします。

「ロビンソン・クルーソー」はイギリスのダニエル・デフォーという人が、今から二百八十年ほど前に書いた本で、子供向けというよりは大人向けに書かれた本ですが、著者ダニエル・デフォーが意図している深い意味とは別に、一種の冒険物語として子供たちに面白く読まれてきました。

物語は簡単に要約しますと、十七世紀にイギリスの恵まれた家庭に生まれた主人公ロビンソン・クルーソーが父の説得にもかかわらず、家を飛び出し荒波の大西洋に船出し、さんざん危険に遭遇し、苦勞を重ねるといいう物語で

す。このクルーソーの体験と心の思いを通じて著者は、人間の意味・経済・宗教を語っていますが、まず皆さんは楽しく読んでください。読み返す都度、意味が分かってきます。

小中学生のみなさんへ

感受性に富む若い時に読書に親しんでください

私は愛知県の三河の農家に生まれ育ち、小学校・中学校と町の学校でのんびり学びました。農家の手伝いはそこそこに、家にある数少ない本を読むことが楽しみのひとつでした。岡崎の高校もそろそろ卒業という頃、農家の跡継ぎでやっていけるかと悩んだ末、両親を説得し、東京の大学へ進学しました。

皆さまに紹介したロビンソン・クルーソーは父に引き止められましたが、私は母に引き止められました。しかし、クルーソー同様に、親を振り切っています。忙しい日々を過ごしてしまいましたが、若い時から本に親しんだことは今になっても、毎日を豊かにしてくれています。



高信太郎(漫画家)

- 蒲都市出身 蒲郡市民間大使
- ★ 推理作家・都筑道夫氏の二番弟子。落語家・春風亭柳昇門下で、春風亭蛾昇の高座名をもつ。
- ★ 韓国や禁煙をテーマに日本各地で講演活動をし、別府大学で特別講師として漫画を教えている。

わたしの一冊

▼書名 新釈古事記

▼著者 石川淳

▼出版社 筑摩書房



(注) 「古事記」は子ども向けから大人向けまで多数出版されていますので、自分に合わせて本を選んでください。(高信太郎)

本を紹介

※「古事記」について紹介します。

現在、日本に残る最古の書物、それが「古事記」です。天武天皇が壬申の乱(六七二年)後に、稗田阿礼(ひえだのあれ)に誦み習わせました。天武天皇の没後、その遺志を継いだ元明天皇が太安万侶(おおのやすまろ)に命じて稗田阿礼の言葉を筆録させました。こうして和銅五年(七二二年)に完成しました。上・中・下の三巻から成ります。上巻は神の時代の物語です。天地創造、国生み神話、天孫降臨神話などがよく知られています。中巻は神武天皇から応神天皇までの神と英雄の物語。そして、下巻は仁徳天皇から推古天皇までの天皇の時代の物語です。三巻とも歴史、伝説、歌謡などが盛り込まれ、私たちの国、日本がどのようにして出来上がったかがよく分かります。

小中学生のみなさんへ

人のためになる

ぼくは小学生のころから人を笑わせることが大好きでした。そこで、最初は落語家になりたいと思っていましたが、小学三年生の時、漫画家になることを決めました。どちらも人を楽しませるということでは同じだと思ったからです。落語も漫画も自分一人が面白ければよいというものではありません。お客さんや読者の人が楽しんでくれたことが自分の喜びなのです。これは落語や漫画だけのことではないと思います。自分のためにしたことが他の人のためになる。他の人のためにしたことが自分も楽しい。人間が人間の中で生きていくうえで、これはどんなこと(仕事)にも言えるのではないかと思います。いつも自分と他の人を考えながら好きな道を進んでください。

その他の紹介図書

- ◆ 「ハックルベリー・フィンの冒険」(マーク・トウェイン/作 西田実/訳) 岩波書店
- ◆ 「嵐の中の灯台」(小柳陽太郎・石井公二郎) 明成社

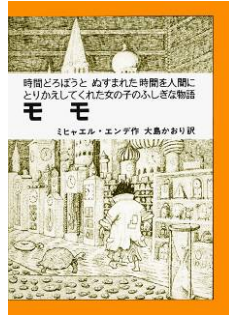


こやままみ 小山茉美(声優・ナレーター)

■ 西尾市出身

- ★ NHK名古屋制作ドラマ「キヨコは泣くもんか!」でデビュー。現在、青二プロダクション所属。
- ★ 「Dr.スランプ・アラレちゃん」(アラレ役)などのアニメや洋画の声優として、また報道ステーションなどの番組ナレーターとして活躍中。

わたしの一冊



▼書名 モモ
▼著者 ミヒヤエル・エンデ/作
大島かおり/訳
▼出版社 岩波書店

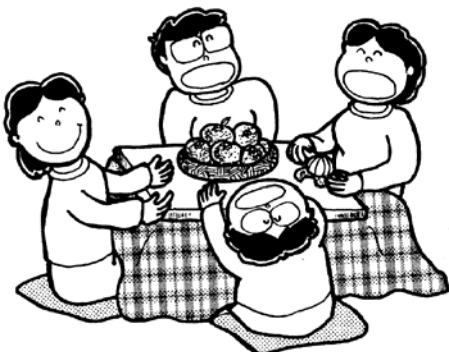
本の紹介

ミヒヤエル・エンデ(ドイツの児童文学作家・一九二九年〜一九九五年)は、映画「ネバーエンディング・ストーリー」の原作「はてしない物語」の作者としておなじみですね。私がこの「モモ」に出会ったのは、なんと大人になってからなんです。それまでの私は「児童文学は子供のもの」と決めつけていたのですが、この本はあまりにもおもしろくて一気に読んでしまいました。生きていくうえで何が大切なのかを私に教えてくれているような気がしたからです。あなたも「え?もうこんな時間?」とか「時間がない、時間が無い。」なんて感じたことはありませんか? 実はこのお話、時間を盗む「灰色の男たち」と、盗まれた時間を取り戻してくれる「女の子・モモ」

小中学生のみなさんへ

の不思議な物語です。「モモ」は、あなたが大人になっても充分楽しめる本です。きっと大切な一冊となってくれるでしょう。

声優やナレーションの仕事は何よりも読解力が求められます。だから私はなるべく本を読みます。そして本が大好きです。テレビや映画も好きですが、映像はあくまでも「誰かによってつくられたイメージ」です。主人公の顔から、まわりの景色まで、決められたイメージを一方的に押し付けられています。でも本(活字)は、私だけのイメージを頭の中でつくることができます。それも私のペースで物語の世界を自由に想像することが出来るのです。楽しいですよ。あなたもぜひ活字で、あなただけの「モモ」の世界を楽しんでみてくださいね。





近藤恵子(岡崎高校コーラス部顧問)

- 豊川市在住
- ★ 一九六八年岡崎高校に着任以来四十年、コーラス部を全国トップクラスの合唱団に導く。「世界合唱大会(合唱オリンピック)」では五大大会すべてで金メダル、三度の最優秀賞を獲得。
- ★ 豊川市文化奨励賞、岡崎市教育文化賞、愛知県教科教育功労賞、中日教育賞の各賞受賞。

わたしの一冊



- ▼ 題名 スイスのロビンソン
- ▼ 著者 ヨハン・ダヴィット・スィー
- ス／作 宇多五郎／訳
- ▼ 出版社 岩波書店

本の紹介

もし無人島に流れ着いたら？

嵐の中、船が座礁。他の乗客も乗組員も救命ボートで逃げてしまい、一家族と犬二匹。船内に残った様々な物を持っていざ島へ！

人の住んでいないのは全く無いし、どんな野獣がひそんでいるかも知れない島で一家と愛犬二匹が様々な困難を克服しながら、豊かに暮らし始めます。船から持ち出した食料などあつという間に終わります。家族の食べ物、水、そして今夜眠る場所さえも作らねばなりません。父親と母親の知恵に四人の息子達の機転も加わり、おもしろい工夫と創造の生活が始まります。最初は恐る恐るの挑戦ですが、意外にも食用にできる植物や果物の多い豊かな島であることがわかり、大量に収穫した時は日に干して保存食にし

小中学生のみなさんへ

ちよつとだけゲームの手を止めて！

ゲームがおもしろいのはわかるよ。漫画がやめられないのもわかる。私も大好きだから。でも、本はもつとおもしろい。少し面倒くさいけど読み出すと止まらないほど。今日推薦した本や「冒険者たち」は男子に、また「小公女」「小公子」「赤毛のアン」などは女の子にどうしても読んで欲しい本。大人になつてから壁にぶつかり、心がへちゃんこになった時、取り出して読んでごらん。絶対力が湧いてくるよ。本は楽しい！

その他の紹介図書

- ◆ 「冒険者たち」(斉藤惇夫／作 藪内正幸／画) 岩波書店
- ◆ 「バッハの思い出」(アンナ・マグダレーナ・バッハ／作 山下肇／訳) ダビッド社
- ◆ 「すべては音楽から生まれる「脳とシューベルト」」(茂木健一郎) PHP新書